

第5学年 学級活動（2）指導案

1 題材 「自己のよさの伸長」 ア 希望や目標をもって生きる態度の形成

2 題材について

（1）児童の実態

本学級の児童は、男子15名、女子18名計33名の学級である。5年生になり、2ヶ月が経った時期であるが、高学年としての自覚が芽生え、6年生の姿を手本にしながら、よりよい学校生活に向けて意欲的に関わっていこうとする態度が見られるようになってきている。5月の運動会では、それぞれが役員として運営に関わり、自分の役割を果たそうと熱心に取り組む姿が見られた。中には、下学年の行動に気を配り、声を書ける等の思いやりのある行動も見られた。4月に昨年度退職された先生のメッセージを受けて、「だれにでもできることであるが、人に負けないくらいがんばりたいこと」という年間目標を設けて個々が決めて月ごとに振り返りながら意識して生活している。自分の夢や目標を持って意欲的に生活をしている児童が多いが、自分に自信が持てない、目標がつかめない児童もいるのが実態である。

（2）題材設定の理由

本学級の学級目標は、話し合いにより「みんな仲良く信頼し協力して笑顔が光る5年生」に決まった。高学年として責任を持って行動し、一人でやるのではなく、力を出し合って信頼を深めながら生活したい、クラス全員が明るい笑顔で生活したいという願いが込められている。男女が仲良く協力できるこの時期に、互いも認め合いの場を設けることで、互いの信頼を深めることができ、学級目標の「笑顔が光る」の具現化につながると考える。また、自分のよさを再認識し、それを生かしながら、友達とよりよい生活を築いていこうとする意欲をたかめることができると考える。更には、上記の年間の個人目標が抽象的な児童もいるので、をより具体化し、自分のよさを生かした目標に移行させたい。

指導にあたっては、まず、学習前に、道徳の学習「手塚治虫」（個性の伸長）の学習を想起させ、学級活動で自分のよさについて考える学習をすることを伝え、事前アンケートとり、実態を把握する。また、事前に「よさみつけカード」をグループの友達に書かせ指導に生かす。よさについては、多面的に見る目を養うことに配慮しながら、児童全員のよさが見つけられるようにする。自分のよさをどう生かすかという点に重点を置き、グループの友達としっかり話し合わせ、最終的には、自己決定をし、具体的な行動目標が立てられるようにする。1週間後に目標についての振り返りを行い、自己評価と友達からの評価をすることで、自己への自信を高められるようにしたい。また、「ほめほめ面接」等の教育相談の機会を生かして、自分のよさを生かそうとする姿を肯定的に認めたり、アドバイスをしたりし、自己への自信をつけていくための一助としたい。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価 規準	自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、自主的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。

4 事前の指導

児童の活動	指導の留意点	めざす児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材を知る。 ・ アンケートに記入する。 ・ 友達のよさみつけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳の学習を想起させる。 ・ 授業に向けての児童の意欲や実態の把握をする。 ・ グループの友達同士で「よさみつけカード」に記入させる。 ・ いろいろな面でよさを見つけさせ、全員のよさが見つけられるようにする。 	事前段階で、アンケートやワークシートに自分の思いを記入できている児童は、関心が高い。「特になし」の児童については、意欲付けが必要。

5 本時のねらい

自分自身のよさについて再認識し、それを生かしながら、学級の友達と協力して生活していくとする意欲を高める。

6 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	資料	めざす児童の姿と評価方法
導入 つかむ	1 自他のよさについて振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ やさしい→心情 ・ 背が高い→身体 ・ 運動が得意→技術技能 ・ よく食べる→行動 ・ おもしろい→性格 2 アンケート結果を見て考える。 3 友達から見つけてもらった「自分のよさ」について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童から見た学級担任のよさについて考えさせ、人間にはいろいろなよさがあることに気付くことができるようにする。 ・ 日頃から自分のよさや友達のよさに目を向けているかの実態をつかませる。 ・ グループで意見交換をさせ、書いてくれた自分のよさについてその理由などを聞いてみさせる。 ・ 具体的に理由を話すように促す。 	アンケート結果 よさみつけカード	
展開 さぐる	4 自分のよさについて見直す方法について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のよさをいろいろな見方で見直す方法について説明する。その方法で自分のよさを分類させる。 ・ 自分のよさを分類して気づいたことを発表し合うことができるようにする。 	学習カード（分類表）	

	5 お互いのよさを伸ばす方法について話し合う。	・お互いの意見を出し合う中で、自分自身のよさを伸ばすとともに、友達のよさに目を向けて考えることができるようにする。		思考・判断・実践 ・友達の意見を参考にしながら、自分自身のよさを再認識し、 <u>そのよさをどう生かしていきたいか具体的なめあてを</u> 考え、進んで実践している。 (学習カード・発言・観察)
終末	6 自分自身のよさを生かして、どんなことに取り組むかを決める。(自己決定)	・自分自身のこれまでをふり返り、自己決定の内容が、実践に向けて具体的なものになっているか、グループで意見交換をさせ、確認できるようにする。	学習カード	
見つける	7 自分が取り組むことを友達と伝え合う。	・友達に自分のめあてを発表し、その反応を聞くことで、実践に向けての意欲を高める。		
決める	8 教師の話聞く。			

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	めざす児童の姿と評価方法
○自分が立てためあてや取り組み等についてふり返る。 ○友達同士で取り組みを確認し合う。	・事後にふり返る機会を設定し、継続した取り組みなるように助言する。 ・帰りの会を利用して、友達同士で取り組みを確認し、認め合いながら、実践の継続化を図る。	思考・判断・実践 ・友達の意見を参考にしながら、自分自身のよさを再認識し、そのよさをどう生かしていきたいか具体的なめあてを考え、 <u>進んで実践している。</u> (学習カード・発言・行動観察)

よさみつけカード

さん

よいところ

書いた人

	さん
よいところ	書いた人

「自分のよさを見つめ直して、そのよさを生かそう」

学習カード

5年 名前 ()

1, 自分のよさの分類表^{ぶんるいひょう}

せいかく 性格	
しんたいてき 身体的	
ぎじゅつ ぎのう 技術や技能	
こうどうめん 行動面	
しんじょうめん 心情面	
その他	

2, これから、自分の「どんなよさを」を「どんな場面（時）」に「どのように」生かしていきますか。

わたし（ぼく）は、

（自分のどんなよさを）

（こんな場面（時）に、このように生かしていきます。）

3, 自分自身の取り組みをふり返ってみましょう。

自分のふり返り

友達からのメッセージ

